↑須崎部長からブリが手渡され笑顔の施設利用者（さざ波）

青壮年部から施設へ
丹精こめたブリ美味しく味わって

東町漁業協同組合青壮年部（須﨑隆文部長）によるブリの贈呈が、12月16日、ありました。

これは、同部員らが丹精込めて育てた、かごしまのさかなに認定されている養殖ブリ「鰤王」を、町内の福祉施設などに入所する人たちにも食べてもらうことを目的に贈呈する年末恒例の活動です。

この日は、「桃源郷」「スマイル園」「さざ波」「長生園」「あかね園」の5施設を、須﨑部長が訪問。

さざ波では利用者らに出迎えられ、須﨑部長が「丹精込めたブリです。お正月に皆さんで召し上がってください。いつまでも長生きしてお元気で」とあいさつし、利用者代表へ手渡しました。

同施設の園田哲也施設長は「利用者はみんなブリが大好きで、大変ありがたい。毎年のことながら、非常に感謝している」と笑顔で話しました。

PTA活動の様子を発表
親の視線で教育を学ぶ

11月29日、鹿児島県PTA活動研究委嘱公開が町文化ホールであり、北薩地区5市町のPTA会員など約500人が、研究発表や協議を行いました。

会では、川床小学校、獅子島幼小中学校のPTA役員が町の代表として日頃の活動の様子を発表。参加者からの質疑などに応えながら、会員相互が学び合い、交流を深めました。

会が終わると大分県の観光特使・矢野大和さんによる「笑って元気ふるさとを想う心」と題した講演があり、ユーモアあふれる話に、来場者が聞き入っていました。

↑活動の様子を発表したPTA役員ら

↑ドライバーへ餅を配布する支部員

年末年始の交通安全防止運動
安全願い三色餅を配布

12月11日、阿久根地区交通安全協会長島東支部（石橋親信支部長）は、町内の交通安全を祈願して、町内を走るドライバーへ事故防止を訴えました。

この取り組みは、12月10日から1月10日の期間中行われる「年末年始の交通事故防止運動」の一環。この日は、赤崎橋パーキングパークで交通祈願の黙とうをささげた後、同会員らが1台ずつ、交通ルールとマナーを呼びかけ、信号にちなんだ「赤、青、黄」色の三色餅を配りました。